

石川国体に出場した団地社員の活躍

(ウィルビー株)

仲松さん 逆転優勝!!

—石川国体陸上・成年女子A砲丸投げ—

第46回国民体育大会(石川国体)秋季大会の最終日の10月17日、陸上・成年女子A砲丸投げでウィルビー株の仲松てるみ選手が14m44で見事逆転優勝されました。

仲松 てるみ(なかつ・てるみ)

[プロフィール]

昭和42年8月4日、沖縄県恩納村(おんなそん)生まれ。沖縄興南高校から国土館大学を経て、平成3年4月にウィルビー株入社。



[砲丸投げを始めたきっかけ]

中学2年まではバスケット部にいたんですが、その中でボールを一番遠くへ投げた事が出来たんです。そこでクラブの先生に砲丸投げで県内(沖縄)で2位以内に入賞したら、飛行機に乗って九州大会(当時、福岡大会)へ行けると言われ、飛行機に乗りた一心で、中学3年から砲丸投げを始めました。

試合前の練習では優勝ラインの14m50を越えており、調子はよかったが、プレッシャーがかかって思ったより記録が伸びずギリギリの8位でベスト8に。

決勝でも最後の一球を残した段階で4位、応援に行った同僚たちは、なぐさめの言葉を考えていたそうです。高校時代に来たインターハイ石川大会では予選落ち。その時と同じ競技場ということで何としても借りを返したいという思いもあった6投目、2位に4cm差をつけて、まさに絵に書いたような大逆転となりました。

[競技中は何を考えていましたか?]

最後の一球を投げる前あたりから調子があがっていたので「絶対に今やるしかない」「勝たなければならない」「いける」と自分自身を信じてました。逆転優勝を決めた時は石川県旗とウィルビー株の看板を持って競技場内をウイニングランしたい気持ちでした。

[趣味]

映画鑑賞、音楽、テニス、ダイビング、カラオケ

[社長より一言]

仲松君には常日頃、ベストを尽くすように言ってき

ましたが、国体の時は本当に全力投球をしてくれてやればできるという事を身をもって教えてくれました。ウィルビー株の社員全員にもこれは教訓になった事と思います。

これからも何事においても「ベストを尽くす」という事を念頭に置いて取り組んでもらいたいと思います。

「会社のみなさんが、あたたかく、やさしくしてくれて、競技を安心して行えました。一生忘れられない思い出ができて、ありがとうございました。これが別れじゃないので、今後ともよろしくお願いします」という仲松さんですが、この後は沖縄へ帰り、教師をしながら後輩の指導を行っていききたいそうです。

選手の間は何度も故障に悩まされた彼女ですが、この貴重な経験を第二の人生に生かして、指導者として活躍されることを期待します。

又、軟式野球成年2部では福島印刷株が優勝しましたが、補強選手として株田村勝治商店の登間佐正樹選手が2番ライトでレギュラー出場されていました。

登間佐 正樹(とまさ・まさき)

[生年月日]

昭和39年6月19日

[野球歴]

中学の頃から野球を始め、星稜高校時代には100m11秒2の俊足をいかし、2番レフトで何と4回も(!)甲子園へ。



チームの牽引車として活躍されました。

[一言]

正直いってベスト4入り为目标だったので、まさか優勝できるとは思っていませんでした。国体という夢の場で優勝できて本当にうれしいです。

4ヶ月前から、合宿、遠征をはじめましたが、会社の理解があったので、仕事を休んで出させてもらえました。社長をはじめ、上司、先輩の皆さんに本当に感謝しています。

[趣味]

ゴルフ、スキー

野球は趣味ではなく、生活の一部だそうです。

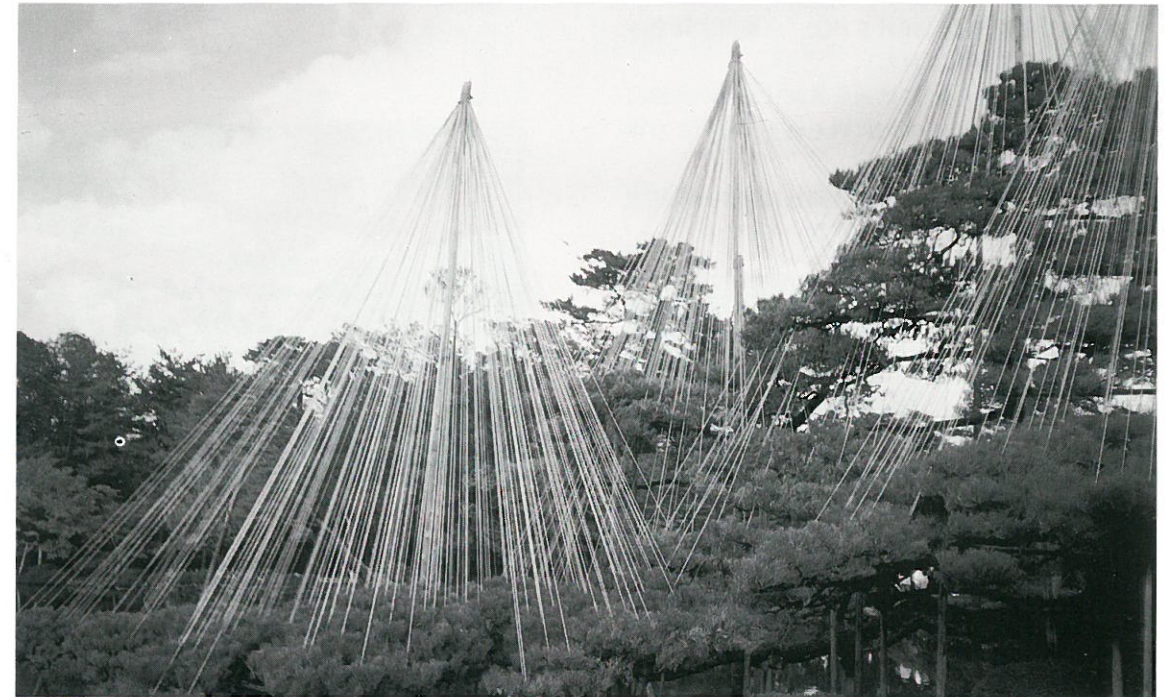
その他、惜しくも2位となりましたが、成年女子バスケットボールには成瀬電気工事株の米本昌恵、鈴木則江の両選手が出場されました。

金沢問屋センター ニュース

1991.11

No. 51

協同組合 金沢問屋センター 金沢市問屋町2丁目61番地 ☎37-8585 ●発行者/小川甚次郎



雪吊りはじまる兼六園

証券業界と「商取引の公正」

協金沢問屋センター

財務委員長 永井栄一

今年6月に、突然マスコミによって野村証券など大手証券会社が大口顧客に損失補填していた事実が報道されました。そこで驚かされたのは四大証券が損失補填した総額が1,283億円にも達していたという事です。

この事件は専門家でなければなかなか分かりづらい事件といわれていますが、逆にこの事件を社会的な問題にまで押し上げたのは「何故一部の顧客にだけ損失補填がされるのか」という誰にでも分かる疑問の声だったと思います。

投資家というのは儲る時もあれば損をする時もある。そして損は自己負担が原則です。これは「投資家の自己責任原則」といわれています。

しかし、一般投資家からすれば自分の意思で投資したというより、証券会社から「必ず上がります」と言われて買わされたという感が強いように思われます。ですからますます不満が大きくなります。

この例で有名なのがNTT株です。これは証券会社がシナリオを書いたと言われる「シナリオ相場」で有名ですが、この株を300万円の高値で買われ大損をさせられた一般投資家からすれば、大企業への損失補填は許されない行為です。私ども経営人が常に自覚しなければならない「商取引の公正」という点から考えますとやはりあってはならない事のように思われます。

この「証券不祥事件」というのは、日本以上に世界の反響が大きかったと聞きます。アメリカやヨーロッパなどでは「日本の企業が強いのはキタナイやり方をしているからだ」の論調でこの事件を伝えたと聞きます。

日本政府が証券各社に厳罰で臨んだのはこの海外の声に配慮したからだと言われています。

今や世界の中でのものを考えなければならない時、世界から信頼される日本企業でなければならないと思います。そのためにも「儲かれば何をしても良い」というのではなく、世界が納得のいく「商取引の公正」を確立して戴きたいのです。

第19回 社員園遊会

恒例の社員園遊会は10月5日(土)、会館前道路を歩行者天国にして開催された。

「のみの市販売大会」では組合員商社28社が会館前道路と大ホール・パルス内に店を構え、好天にも恵まれ多くの人達で賑わった。

又、今回は特別企画として「商社対抗なわ飛び大会」があり、会場内では歓声が響いていた。



第4回 ゴルフ大会

11月3日(日)、「片山津ゴルフ倶楽部山代ゴルフ場山中コース」において、第4回ゴルフ大会が開催された。

今回は25社69名が参加、午前6時39分第1組がスタートして、腕前を競い合った。

| [グロスの部] | | G | | |
|---------|-----------------|-----|------|------|
| 優勝 | 川崎 晃 川崎 (株) | 77 | | |
| 準優勝 | 北川 浩二 川崎 (株) | 80 | | |
| 第3位 | 上田 敏夫 石織 (株) | 82 | | |
| [ネットの部] | | G | H | N |
| 優勝 | 富木 昭光 富木医療器(株) | 94 | 24 | 70 |
| 準優勝 | 敦賀 紀夫 榎田村勝治商店 | 85 | 14.4 | 70.6 |
| 第3位 | 松田 誠治 小川 (株) | 86 | 14.4 | 71.6 |
| 第4位 | 吉川 覚 榎田村勝治商店 | 97 | 25.2 | 71.8 |
| 第5位 | 松山 省三 榎アイネックス | 92 | 19.2 | 72.8 |
| 第7位 | 岸 励 榎田村勝治商店 | 95 | 21.6 | 73.4 |
| 第10位 | 河島 義隆 石織 (株) | 97 | 22.8 | 74.2 |
| 第20位 | 佐々木信幸 丸与商事(株) | 103 | 26.4 | 76.6 |
| 第30位 | 石川 立夫 榎キョー・エイ | 91 | 13.2 | 77.8 |
| 第40位 | 清水 一洋 (株)マツモト | 106 | 26.4 | 79.6 |
| 第50位 | 服部 誠治 ハットリ産業(株) | 106 | 24 | 82 |
| 第60位 | 玉井 伸明 (株)タマイ | 123 | 33.6 | 89.4 |
| ブービー賞 | 島崎 政幸 島崎 (株) | 139 | 36 | 103 |

[共通]

ニアピン賞[OUTスタート組]

- 白井 稔 榎キョー・エイ 3番
- 北村正一朗 (株) 前垣 6番
- 島崎 政幸 島崎 (株) 14番
- 上田 敏夫 石織 (株) 17番

ニアピン賞[INスタート組]

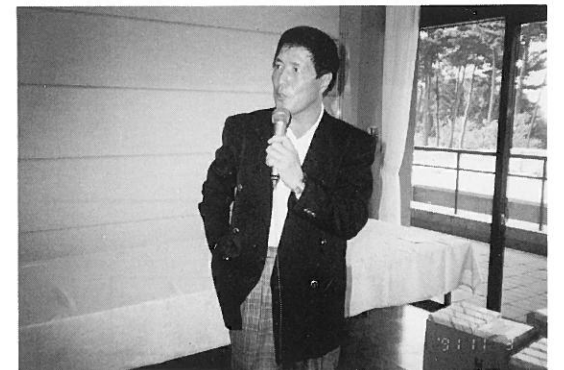
- 東 敏彰 榎田村勝治商店 3番
- 多田 泰雄 (株) 賛協 6番
- 平野 渉 丸与商事(株) 14番
- 伊藤 淳蔵 榎アイネックス 17番

ドラコン賞[OUTスタート組]

- 吉川 覚 榎田村勝治商店 2番

ドラコン賞[INスタート組]

- 東 敏彰 榎田村勝治商店 2番



グロスの部優勝 川崎選手



ネットの部優勝 富木選手

第17回 商社対抗 ソフトボール大会

昨年は雨にたたられ行えなかったが、今年は好天に恵まれて、第17回商社対抗ソフトボール大会は、9月29日(日)、参加29チームで行われた。

午後3時からの決勝戦では(株)川助が(株)キョー・エイを接戦の末12対8で下し、3年ぶり2回目の優勝を遂げた。

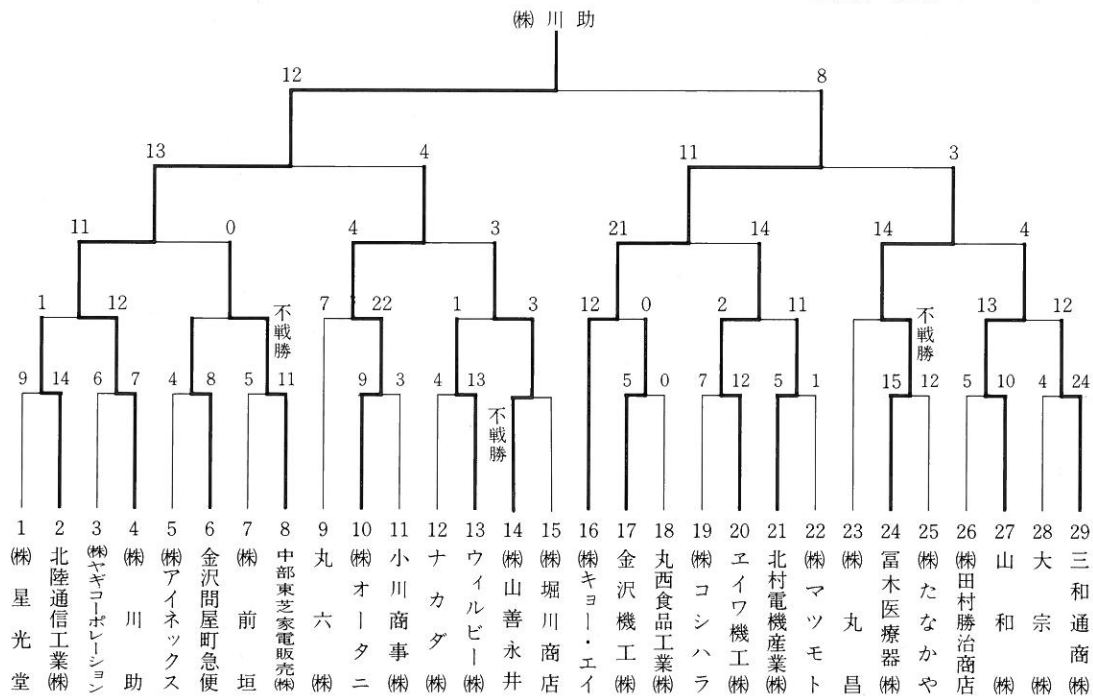
最優秀選手賞 宇野 敏彦 (株) 川 助
敢闘賞 蔵口 真紀 (株)キョー・エイ
打撃賞 高桑 茂行 (株) 川 助



優勝 (株)川助チーム



準優勝 (株)キョー・エイチーム



5年間の労働事情の変化について

人材確保推進員 久保 和夫

現在、景気の減速傾向がはっきりしてきた。中小企業の最大の経営課題は人手不足であったが、それがゆるむという期待がないわけではない。

しかしながら、厚生省の統計では生産年齢人口(15歳~64歳)は1995年にピークに達し、以後、人口減少に向かうと予測されている。今後、このような構造要因が前面にでてくるであろう。

そこで、昭和61年から平成2年度の5年間にわたる統計資料を基本に、(協)金沢問屋センター構成企業の動向を分析してみた。その結果、次のことがわかった。

(1) 従業員数は増加していない。

| | |
|--------------------|-------|
| 昭和61年4月現在の1社平均従業員数 | 29.6人 |
| 平成3年4月現在の1社平均従業員数 | 31.8人 |
| その間の伸び率 | 7.4% |

5年間の平均年間伸び率は1.5%程であるが、零細な企業が減って1社平均人数が増加したことによるとも考えられる。

(2) 女子従業員数が少しづつ増加している。

| | |
|---------------|----------------|
| 昭和61年4月現在 総員数 | 4,446人 |
| 内女子従業員 | 1,370人 (30.8%) |
| 平成3年4月現在 総員数 | 4,457人 |
| 内女子従業員 | 1,443人 (32.4%) |

(3) 従業員の高齢化が少しづつ進んでいる。

(従業員の構成比)

| 区分 | 61年 | 3年 | 増減 |
|--------|--------|--------|-------|
| 25歳以下 | 24.7% | 27.5% | 2.8% |
| 26~35歳 | 29.0% | 23.9% | ▲5.1% |
| 36~45歳 | 27.2% | 26.2% | ▲1.0% |
| 46~55歳 | 12.5% | 14.4% | ▲1.9% |
| 56歳以上 | 6.5% | 7.9% | 1.4% |
| 計 | 100.0% | 100.0% | |

(注) 総員数を100として年齢別構成比を出した。

26~45歳の働き盛りが減少し、その減少分を25歳以下と46歳以上で補っている。

(4) 一番戦力になる年齢層の退職が多い。

たとえば、男子の場合の中途退職者と中途採用者の平均年齢は次のとおりである。

| 区分 | 退職者の平均年齢 | 中途採用者の平均年齢 |
|----|----------|------------|
| 繊維 | 38.0歳 | 36.0歳 |
| 百貨 | 34.2歳 | 30.9歳 |

(5) 平成元年度を転換点として労働事情が変化している。

・初任給および従業員賃金の大幅な上昇は、平成元年度より顕著になっている。

・月2回以上の週休2日制が目立って多くなってきたのが、平成元年度からである。

以上の傾向が今後ますます強くなっていくであろう。しかしながら、(協)金沢問屋センター構成企業の本当の問題点は、「既存の社員を十分に戦力化しているか」という問いの答えにあるような気がする。

なぜなら、「この会社でがんばっても責任が重くなるだけで、自分にとってあまりプラスにならない」と、見切りをつける例が余りにも多いからである。新卒者を大切にすることもいいが、既存社員の活性化こそ人手不足対策の王道であるという原点を確認したい。

人間としての社会的人格の形成は仕事との対決の場においてのみ達成されるとすれば、仕事への姿勢はより厳しく問われなければならない。また、その処遇は、適切なものでなければ「社員と夢を共有」できないであろう。「魅力的な会社づくり」という言葉はよし、しかし本当の意味は、経営者の器の大きさと、その歩む道の、王道か否か問うものでなければならないであろう。そんな気がする。

藍綬褒章受章



井口商店 社長 井口 總一郎氏

昭和43年以来、金沢家庭裁判所家事調停委員として、多くの事案を解決するとともに、53年からは参与員、又、金沢調停協会理事を務め、調停制度の声価保持に貢献した。